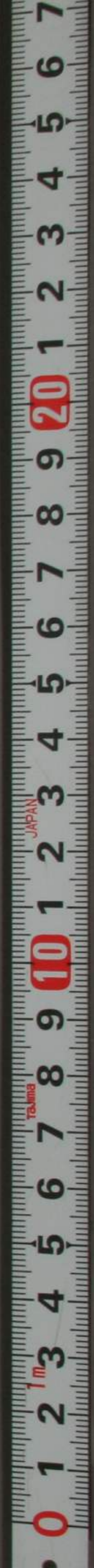


憲教類典

四ノ六
評定

3保7
2.740
37



門ヲ保 3
號 2770
卷 87

元文三年五月十二日

四ノ六

評定

此は在官全人教書
白字中、此は在官全人教書
付、在官全人教書、
年、在官全人教書、
年、在官全人教書、
年、在官全人教書、

憲教類典

四ノ六

元文

元文三^戊年年五月十二日



此仕至宰舍人数書上之事

其与年中此仕至成以考人教言書

付并宰舍者翌年上越以候何取

年を越以候一々年一切、下書上名江

作渡少事

元文三^戊年年五月十二日

元文三^戊年年五月十六日

元文三戌年五月十六日

一 父兄身由番遠之為比今由之由定
之由子先父之由閉門 由之由之由
之由由之由之由父方之由續之由准之由
但他之由養子之由結之由子孫之由
比今由之由由定之由由

逼塞

一 父兄身由祖父由番遠之為比今由之由
由定之由由子先父之由 逼塞

御免之由之由之由

御免之由之由之由

之由續之由准之由

但他之由養子之由結之由子孫之由

番遠之由比今由之由通

在之上上格之由

月番

元文三戌年五月十六日 在之由近之由

元文三戌年七月

元文三戌午年十一月十八日

教之者書出の旨は存て遂に生死
之後遂に味て其書出の旨は存て
其子も取の同而後ハ生死之後
其友の味て其書出の教免く上
相果は其のハ親教又ハ申緒有
そのハ教免く後ハ申緒有
可く其得い以上

七月

元文三戌午年十一月十八日

尚書お解は此代及所て遂に味
何の上致居其の出入并此信並其の
何お解は者其御く同書 寫致
公事方内寄合ハ其長其其出の林
お解は逐法其逐滞其御く
寫其其の林て其お得い其其勤定
其新其其味く上其其其其

中流之題書記可及出以若達而
一通書付其出以後官不其出
以付其又相達以尤其之近古仕
至其海山分其來月十八日其子
書付下其出
右者此度斗之事其世法其
而後書面之近古心得其成其

上

十二月十八日

中山平其
秋原又五郎

元文四年末年四月

勝浦左衛門

付者其取而持之而人運候
積也稼き之其時三四年
以前其七難成其取多其其
其其の取より破取其其其

破船の〜〜と偽買人荷物
伐替の罪より〜〜の宰令
作舟の舟を去月廿二日安治川
三日〜〜廿五日死罪獄の
作舟の舟を去月廿二日安治川

大宰府

妻

日人善子

長左衛門

十六年

日人娘

十六年

〜

日

十三年

〜

日

八年

〜

日世倅

二年

初左衛門

右六人堀江橋道三所目表家子

丁未年正月 宛在 宛在 宛在 宛在

宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在

宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在

宛在

宛在

宛在

宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在

宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在

宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在

宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在

宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在

宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在

宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在

宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在

宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在

宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在

宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在

宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在 宛在

少頃天有月土空母之し何處に
 吹入る事し何所内く者大日
 石峰極子少頃と成り知彼商人是若
 此書亦し母もかくし何れし
 終なく 既く此の條に度日 知
 同法少極子少頃相成り 即成代
 とも 両所を以て 而も此の味し知
 中一人入智あるも 信は証を
 多し世少頃少事終なくし付

廿六日在命命命死罪而延川と成今
 以空し少頃と在妻のし何内く大切
 し何れし 三少頃極子 何れ尤在し越
 何れも少頃中し何れ又既く此の條
 何れ 在命命命清命此助と成所拂
 何れ 何れ

元文四己未年三月十日

一 少頃子、少頃越し者し、實方し親記

日教半減

一 若くは方々本或く是後絶て親教を
日教半減

中二月

附札

只今迄遠く是れ 作付のその
と將 遠く是れ世々しく此の先向後
遠く是れ作付の若く將
御月通るるに如く一に別定

一 若くは方々本或く是後絶て親教を
及至如他他下若くは子一は如く
將を不及至如

右向の上札

月書

元文四未年三月十日 右近所監

元文四己未年三月十八日

四冬出仕並に

作付

大坂勝浦屋

太常公書

妻子大

在去ル三日大坂町奉行下
百味を信流の事左衛門右衛門
少佐とて 御舟の西落て 子
お願ひに付 不長及少少法の内左衛
會と行ひに付 命少助大坂遊放
は 御舟の尤 子光相觸ひに付 命

少助と成ひに付 妻子住
居に候も 勝子以来 了法名に候後

元丈五原申年五月

三子行大目付に候相平、今案
刻に於真ヶ君為取事ハ有し百
歳少候人 心を付 淨瑠璃三姉嫁
と喜曲おありし 百歳後ハ世候

中達... 不在... 以... 天... 海... 右... 越...
おん...
五月

元文正康申年四月廿六日

一 村方名... 以... 者... 今... 延... 戸...
中... 以... 自... 今... 以後... 戸... 止...
控... 申... 延... 以... 延... 料... 又...

右... 延... 申... 延... 取... 上... 尚... 在...
延... 延... 延... 延... 延... 延... 延... 延...
延... 延... 延... 延... 延... 延... 延... 延...
延... 延... 延... 延... 延... 延... 延... 延...

一 公事... 振... 願... 出... 日... 教... 事... 向...
延... 延... 延... 延... 延... 延... 延... 延...
延... 延... 延... 延... 延... 延... 延... 延...
延... 延... 延... 延... 延... 延... 延... 延...

丁辰廿日但遠志上掛り今日出入生徒
本日教を考す節一日限了相極
事

申四月廿二日

寛保元年辛酉年七月

以後は仕立をて江戸拂又上進致
等成以者少掛り場不限一
在以上有し極相笑以辛酉元在

難し者より少存圍至致生致生法
以先有し以成し御より不偏至極
以名於お願上圍至以去も商人同
前し以仕立中至五人但名至才作
存至至以り右商し然下下付以
條此旨了すお願也

酉七月

寛保元年辛酉年十二月

一 公事一 所記并諸取事

一 控取事

右十月月以上未相済分 何月何取
誰何一之事一 何年何月何取
例年事一 何年一 何年何月何取
書付出公事別紙書付 何年何月何取
以并何年春十月月以上未相済分
所記法取控取事一 書出何分何年
中、何年何月何取

何月何日何取 裁許中付何の

後古書付 何年何月何取

但借金出入公事一 何年何月何取

何年

寛保三年戊午四月

三十七日

此度以定書相換出付至一 定書
大切成事、以名 何年何月何取

得子他久人等之極、下之在心得公

寛保二壬戌年

訴証

一 惣とあ子と之々始と訴証と七日

同裏書

但店結人等之店之部と翌日

指紙

一同存已之り訴証と云紙

一 家藏法道具買當入所人等

指掛り以訴証と二十日同裏書

但商人欠店訴人掛りと二季之

裁許平日等取上

一同度掛り訴証若云云決

一同裁家方と相掛り以二季之

裁許平日等取上

一 惣と新組之事之部と訴状等

全長等以味と之取上者等之候

内寄合は 呼ぶ——中後又
 道造り車輪く 親を車 親く通
 中付ル 衣前く 通 居 寄 以 上 居
 相届 了 中 中 通
 一 番 屋 並 土 花 木 建 立 —— 所 後 尤
 此 等 見 分 甚 以 此 上 内 寄 合 上
 呼 却 —— 中 付 上
 一 欠 居 者 情 付 親 友 形 親 通 情 面
 二 不 及 心

但 親 友 致 欠 居 以 在 子 弟 情 付 上
 後 形 面 以 時 々 情 面 上 形 上 也 上
 日 却 上 尋 中 付 上
 一 居 主 又 子 弟 人 親 友 を 取 子 取 上
 出 入 上 裏 書 居 紙 不 甚 呼 出 居 上
 一 居 主 在 居 上 親 友 上 對 面 上 取 上
 居 主 湯 浴 等 上 暇 形 面 上 上 相 居
 上 上 中 合 臨 上 上 用 不 上 交 換 上 後
 旨 中 派 暇 也 上

惣領 始りて 訴 名 五人組
家系 不名 添 人 取者 其取
上

一新田開拓 取 訴 状 繕 写 留 在
雅 正 殿 上 上

但 関 八 州 信 濃 越 後 下 上 町 守
以 上 各 事 取 上

在 此 以 上 添 管 取 上 訴 状 留 在
長 馬 内 寄 合 上 以 出 上 添 管 取 上

旨 中 添 出 上 上 日 守 届 上 前 日 小
添 管 添 出 上 上

一 欠 居 者 取 上 上 日 延 取 者 出 上 上
日 延 中 付 上 上

但 欠 居 一 延 上 上 凡 九 拾 日 延 上 上
内 不 取 出 上 上 上 料 上 上 上 上

永 享 中 付 上 上 外 上 上 盗 人 類
上 欠 居 上 上 上 百 八 十 日 延 上 上 内

不 取 出 上 上 上 上 上 上

一 裏書 長尺 裁き入り、相子 〓 者
外可中 〓 趣、お針の出入 〓 折收 〓
〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓

一 左方 〓 お掛りの出入 〓 〓 〓 〓 〓 〓
〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓

一 近在 〓 お掛りの出入 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓
〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓

一 紙書 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓
〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓

書

一 店か 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓
〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓

公事

一 家賃入

三十四日切

三十四日切

三十四日切

百五十四切

其解を以て

十二月切

一 店賃滞り入 三千日切

他 此 度 月 下 五 日 滞 り 以 上 十 日 一

切 金 尤 甚 分 分 以 上 切 金

中 年 人

一 同 友 掛 り 金 切 金 五 日 切 金 不

出 せ 者 五 日 切 金 出 せ 者

切 金 五 日 切 金 五 日 切 金 五 日 切 金

滞 り 滞 り 滞 り 滞 り 滞 り 滞 り 滞 り

滞 り 滞 り

一 五 日 人 給 金 滞 り 入 十 日 切

但 五 日 人 給 金 滞 り 入 十 日 切

日 切 金 五 日 切 金 十 日 切 金

中 年 人

一 同 友 掛 り 金 切 金 五 日 切 金 不

出 せ 者 五 日 切 金 出 せ 者 五 日 切 金

相済少終身身代限り

但一向不右相済少終身身代限り

日取迹お乃生苗人宰舎

一 川有る生子預掛法人小部

一 寺公人終舎取留取留下結

一 是りて廿日切

但二度自、不右相済少終身身代限り

切全全尤去りてより以下切全

不中付心

一 分散出入相手分散し別入い後

不心得、少終者至分除き並沙

心分を分散中付心

一 地立店立出入生七日切明分後心

一 格中付心

但店法人地法人廿一在門前

拂

一 日外分出入中付心、不相済内生取

上

但家至川結少於十日切了

門前拂

一家花結道具買取取か入る家賃

く日切一倍、漸方中付ル

一 惣身代限り、中付 不足しく分結

一人、中付 院人 世々しく商人 是

持立、以才 家成も掛り、以 括り

付ん

一 惣身代結支 破しく、そのへお掛り、以

出入り、双方 對結の 院人、以 結り

一 歳日、許定、不足、双方、以 結り

一 可し、結、院、中、流、又

一 金、根、出入、以、元、巧、を、心、取、込、以、以、結

一 以上、漸、方、中、付、み、を、結

以上

寛保二戌年、金、根、出入、裁、許、し、後、以

作、出、有、し、漸、方、以、後、古、く、毎、中、付

以

- 借令
- 寄掛り令
- 為替令
- 普請令
- 打集令
- 兩替令
- 雜用令
- 讓令
- 祠堂令

- 官令
- 書入令
- 立型令
- 出納令
- 職人・子方貸令
- 子附令

右ノ類 然出ハリ 初メニ 後段掛
 リヨウモ 四月五日 裏書書 双方在
 本公 十一月五日 出テ 下段 取掛リ 上

切金下流台申付書不相流翌日所
切金下流台申付書不相流翌日所

他向後切金之金多十分一程中

付小金之少流之金多十分一程中

金中付書之

一但令人宿上結、下結後又人宿

一有、下結掛、出入金、仲、事、

一似、少、流、成、二、月、結、出、結、金、上、結

一之、結、出、入、金、上、日、切、一、解、方

一店、賃、地、代、主、勢、之、二、季、一、裁、件

寛保三癸亥年十月

向後老申、若年、寄、交、紙、金

根、出、入、之、後、紙、金、之、出、向、

之、金、一、三、季、之、所、入、之、紙、金、之、根、中

之、金、一、三、季、之、所、入、之、紙、金、之、根、中

十月

寛保三癸亥年十月

寶曆三癸亥年十一月廿二日

抄年古述初監殿出渡

大月廿二

箱訴狀の味 古後の古 古の古の古
事の古の古 古の古の古 古の古の古
古の古の古 古の古の古 古の古の古
一説 古の古の古 古の古の古 古の古の古
可也 古の古の古 古の古の古 古の古の古

延喜二乙丑年二月

抄問者あり 刻立合く 依古の古

七月 古の古の古 古の古の古 古の古の古
古の古の古 古の古の古 古の古の古
古の古の古 古の古の古 古の古の古
古の古の古 古の古の古 古の古の古
古の古の古 古の古の古 古の古の古

二月

延喜二乙丑年八月十九日

雅志以教以法

少同好下

古今近教法法主之良法徒同好之合
以法主之而法主之合不為也

右一法三法之法年小演年大法

相達之法下法得之法

延享二己丑年九月

其言少者少者少者對一搜之成後

有之付之書人急之取斗一市

其言少者少者少者對一搜之成後

一搜之取樹之法若若人取

樹之法一成一法少者少者少者

法相法得之法一法法主之法

延享四丁卯年六月

其言少者少者少者對一搜之成後

七不紀 質者、馬力五公、有至科
去止、江戸拂、中付、とある
或、家、右、脚、科、有、
節、有、右、馬、力、有、向、後、手、延、不
可、得、也

延享四丁卯年十二月

武家、家、令、子、麻、扇、也
障、以、代、馬、力、以、付、在、右、南、者、也

向、後、江戸、拂、中、付、以、根、可、也、心
得、也

十二月

寛延二丁巳年二月

由、定、書、向、火、附、由、付、五、燃、之、不、中、
以、者、引、上、一、上、死、罪、と、有、之、也
以、向、後、燃、之、不、中、以、先、一、回
可、為、火、罪、也

右ノ通下ノ所ニ至ル

寛延元戊辰年二月

江戸拂出仕並ニ後出令止上本
下河川 水先公後ニ相接ニ事
少治大 而後江戸拂出仕並ニ高
ノ者ニ江戸并 布下河川所
至行 支那所ノ接ニ地事
行事

右ノ通下ノ定書 下ノ書入

寛延二己巳年

三ノ通附抄兼取ノ者遠隔ニ
分五ノ年一ニ之ノ教有ニ時分
下ノ書出旨先年一お達目五退世
盡ニ内仕並相成以分ニ而後右
回抄 下ノ通下ノ所

寛延三己未年

定書之趣以傳色亦向日振可也
致也

十一月

寬延三年庚午年十一月

事奉本以傳主所恨但了也上可也
可也
公方極西九之成以成以成入海可
可也

十二月

宝曆元年辛未年十一月

定

一 寄令八或日每月二日十日廿日
行々之令四日十三日廿五日但
公儀之御用於有之者可為延引
事

一 寄令令之評定流流或日午卯刻中附

三合... 長刻... 時政... 出... 凡... 用... 隙... 明... 次
申... 下... 退... 散... 事...

一 許... 定... 取... 人... 一... 切... 不... 可... 兼...
勿... 編... 音... 依... 停... 止... 可...

一 公... 事... 人... 子... 如... 公... 之... 老... 人... 若... 忠...
并... 病... 者... 亦... 停... 止... 可...

公... 事... 許... 証... 之... 亦... 亦... 志... 縱... 出... 直... 達...
少... 事... 一... 一... 事... 一... 事... 一... 事... 一... 事...
ら... 事...

一 公... 事... 人... 能... 為... 親... 友... 縁... 者... 急... 音...
好... 身... 寄... 合... 場... 切... 切... 許... 定... 免...

一 在... 事... 公... 事... 人... 在... 在... 戶...
久... 後... 次... 事... 一... 事... 一... 事... 一... 事...

一 人... 事... 事... 之... 恨... 面... 一... 先... 理... 事... 下... 取...
一 但... 不... 取... 一... 一... 事... 一... 事... 一... 事...

一 用... 事... 格... 別... 一... 事...
一 公... 事... 人... 一... 不... 審... 中... 一... 加... 一... 事...

節一 汲人下節一 勿備也 度中
よりと 遠く急をく 存念のく 毎可
中山事一

一 公事一 裁許以後 至公節一 汲人
裁許一 始末 下と 改留書す

一 公事一 至白より 度と云 至く 御と至る
と 改留 今至 上と 至 相併 後 至

一 汲人定と 下と 改と 至事一
汲人定と 下と 改と 至事一 訴証

評定と 下と 改と 有く 體文院
臨 亦 採 高 合 所 下 出 一 其 評 証
下と 改と 至事一

一 叙と 下と 改と 至事一 急度 遂
穿 醫 可 海 事

一 裏 判 并 下 状 を 請 遲 年 下 其 の 心
至 下 亦 一 遠 近 を 考 日 叙 を 積 控

至 下 亦 一 下 亦 下 料 子
右 條 一 下 亦 亦 下 一 者 也

宝曆元年十二月

右京大夫

右近卫少将

右卫门少尉

相摸守

宝曆二年申年五月

少佐色河書本文一名第一所寄

認白書一黄紙向後古之通相認可

中心

黄紙認方

此誰後何之致方不属此度以方

何之可中付以方

一此誰後何之致方不属此度以方

右何之可中付以方

若前一可中付以方

相向以者之有之通黄紙之内

一折仕認了方

黄紙認方

一 正誰、後、不特成、後、不相聞
少男、少穉、少能、有、了、事、成、矣

黃紙、認、字

以誰、後、何、後、不、偏、少、能、以
有、人、也、何、可、中、付、矣

有、之、通、少、穉、其、少、能、者、又、不、同、極、矣
少、能、者、其、向、以、考、其、今、也、一、通、名
第、一、不、相、認、了、也

宣曆三癸酉年十一月

女、少、能、者、其、向、以、考、其、今、也、一、通、名
其、付、唯、今、通、至、也、故、其、不、可、付、矣
所、人、百、姓、之、女、其、其、也、故、其、付
以、事、也、其、陸、後、也、其、事、以、同
而、後、所、人、百、姓、之、女、其、其、也、故、其、付
中、付、以、故、其、事、也
有、之、通、其、向、以、考、其、今、也、一、通、名
書、入、也

寶曆四甲戌年四月

遠海者中流有漸牢也 正五
人數十人程 亦成 確之 正五
子付 唯今 近致 永牢 以者 七者
之 而後 遠海 中流 有漸 牢之 月
程之 而 人數 何人 有之 以先 出取
為任 以 振之 波之 勿編 七之 月之
限以 後之 七者 之 以 七之 月 越 以後 者

之 以 而 七 不 甚 以 納 先 七 之 月 越 以 上 致
延 引 以 後 之 七 月 之 以 七 者 之 時 宜 子
茂 之 奇 事 以 以 名 之 奇 事 一 可 有 此
界 之

四月

寶曆四甲戌年六月

方 一 科 之 子 子 遠 確 之
卯 月 十 五 日 以 下 之 月 親 之 疑 之 出 部 之

日向在河 御免出象那比今
寺々 御遠忌 御法事 一教々々
難成 寺々 一更 少以元 向後
御遠忌 一教々々 御免下成
可々 得々々

定曆上乙亥年七月八日

小出信法寺殿 此後
長崎 寺々 一更 少以元 向後

致 向後 少者 長崎 入 更 寺々
等 寺々 一更 少以元 向後
寺々 一更 少以元 向後 長崎 寺々 一更 少以元 向後
長崎 寺々 一更 少以元 向後 長崎 寺々 一更 少以元 向後
寺々 一更 少以元 向後 長崎 寺々 一更 少以元 向後
寺々 一更 少以元 向後 長崎 寺々 一更 少以元 向後
寺々 一更 少以元 向後 長崎 寺々 一更 少以元 向後

因防長門西之川地有八百石以上
之田、下之田、

七月

若年寄、流支配、少産、少納

豊後

稻葉、紀伊、伊予

上野

杉年、仁、吉、吉

下野

武蔵

杉年、頼母

肥前

杉浦、猪、吉、吉

子紙、納

寄合

日向

秋月、十、三、節

日向

所、津、年、吉、吉

豊後

少、吉、五、年、八

豐後

日

杉平圖書

右法勘定所方より以候上上内
付流あり名而大名下相觸り申

ハ

ハ

宝曆六丙子年閏七月

右子理所より候方より不得止り
切殺し者或は怪我より候と申付

至之批りあり死し候に
終り得る中逃散し候定り
下付人より成る候に
少候不し候に而後此
お向に候り候に

閏七月

宝曆八戊寅年六月

三奉行

或亦七評定之既即申刻より會合
以申刻退出之日使りてき
りは理宜日奇合行又 而和解
後之老中申上申達下城之上名也
作正正佳年、七近年少り
祈記子教多成来少而評定亦
之而事、訓裁行りて、治事
其滞り、會令し、召し世に還
出は根お申入若も、其大法に

得て至通理を名及裁行り
去不之能事、名也
作出も有し事、少治を面し
有し心治去有し事、少治味
事致油所、少治有し、少治
事、少治有し、評定亦、少治
し、少治も退散、少治、少治
少治事、且評定、少治、少治
七、少治、少治、日、少治、少治

張一子切以性心在子唯可
中子以子有之起本得既又流
子切以性心切編下性以味評
張亦一似七世油所張一亦亦
成移今性心在子切在切如之
子一子一子一子一子一子一子
張一子一子一子一子一子一子
作也之也

六月

宝曆八戊寅年九月

評定亦或日三合評定亦下
因性亦陰亦一子一子一子一子
之起亦以性心一子一子一子一子
上若自介一子一子一子一子一子
亦一子一子一子一子一子一子

長政

右之越之殿取上 右之越之殿取上
右之越之殿取上

宝曆八戌 宝年九月

三子之... 田江之殿取
評定之... 海北燒物
海之... 出席...

列明

一 或自... 出席... 出席...
下之... 出席...
右之... 出席...

九月

宝曆八戌 宝年九月

向後... 出席...

相商() 以() 休() 益() 分() 十() 苦() 低()
以() 定() 一() 通() 何() 了() 付() 於() 一() 書() 加()
了() 其() 事() 也()
有() 一() 通() 了() 其() 故() 也() 云() 云()

九月

宝曆八年 亥 亥年十二月四日

堀田 右 様 手 紙 此 後 一 成 以 件 定 不
一 月 以 書 付 也

一 月 抄 り 公 事 一 紙 詔 并 以 候 事
多 知 件 定 不 成 相 尋 手 紙 後 居
五 月 一 付 以 迄 年 向 一 抄 り 却 一
右 紙 以 自 今 十 五 日 初 件 定 不 成
相 尋 手 紙 一 書 付 也 抄 り 以 迄 手
多 知 照 不 成 海 守 一 成 月 一 書
今 多 右 紙 一 紙 一 成 手 紙 及 件
後 抄 不 成 紙 本 一 書 付 難 矣 以 一

三原自高令、一併、取出、取、取、
極、之、故、也

但、之、中、所、証、以、性、多、
取、入、以、了、先、其、日、不、取、
取、与、下、以、取、以、性、以、善、又、面、批、
以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、
有、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、
至、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、
以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、

以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、

一、度、掛、り、箱、所、状、以、性、以、了、
等、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、
一、度、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、
自、今、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、
以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、
一、度、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、

一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜

但三時より一役所へ以候并自分切
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜
一 祈状等祈向後寺了退散喜

宝曆九壬卯年正月
寺社奉行
同役所より
祈状等祈向後寺了退散喜

者以佳仕掛至以今士孫孫
者上馬名以付新設之者評席
不出身不仕内以佳取掛不中
能是子官名在女以以同以某
告得者以佳仕掛至以今士孫孫
者上刻合評名新設之者六月者
右勤以以培少之者評取
振以和了多設

四月

庚曆九月卯年二月

以勤定存以
心事評評以佳少之付以今近寺
社事以定以評定而為後之者
有在越以評定以佳仕方在改
以付以事生評定而為後以少
評評以佳事以之者而為後以
寺社事以定以評定以佳少

環石在古却定在林中後去人
宛在越山松下多枝也

二月

有之通古社古人行中流石可
千之之下之法也

定曆九己卯年二月

許定之亦日七也其出席廿一而後

斗高尋乘疎一以名向後法徒月付
之合以和之也

一宰尾最古宰同納一以也

是又向後以徒月付之合以和可

也

有之通古同付中流石可
之也

二月

何處也。乙卯年二月

宝曆九己卯年二月

三

向後評定不為役但民人角役
持人由本人、お成り事

一 支配勘定より評定不出役書物

了之人數在減新規了書役二十

人中付也

如し趣了更以て

二月

宝曆九己卯年二月

三

評定西或日老申一出席し

宅二城刻限お成り以て評定不

公事評定下り致し味以

向後士或日、夜夕出料

理

以

取夜入以り先其日ハ右殘道
 了多致以佳ハ差又面掛ハ事
 所訴亦数多海ノ有ク事在中
 疾ハ益々以テ其後世々ハ極可
 感在ナリ了長ハ掛ハ事取以候
 了時宜ク事ハ事ハ以テ其若ク白
 相殘以テモ尤不苦ハ事ハ事ハ事
 一 度掛リ箱訴状ハ以候事
 評決未ク候事其取以候事ハ事ハ事

所右掛以テ事ハ一週一回ハ其後以テ
 以テ其自今其請其ハ事ハ事ハ事
 事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事
 其事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事
 一 訴状其向候事ハ事ハ事ハ事ハ事
 事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事
 一 毎月上旬日限を極ニ事ハ事ハ事
 一 度掛リ公事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事

自今、
新既書、
出尤得方、
但三子行、
人似味、
書并了、
右、
二月

宝曆九年四月

借令銀五金、
裁許、
寺社、
紙、

評定不卜 亦事 不長出 似之有
一由 不特 一越 亦等 以 只 厘 迄 切 令
負 數 亦 一 似 七 甚 實 久 咸 中 付 有
以 一 亦 右 裁 評 一 越 亦 亦 用 相
不 特 一 亦 斗 亦 有 一 召 受 了 了 一
以 廣 壽 亦 特 一 事 以 似 亦 一 年
竟 債 借 一 後 一 元 亦 對 一 亦 亦 亦
似 一 一 亦 弱 亦 有 一 亦 斗 一 亦 事 起 亦
似 一 一 亦 似 遠 一 一 事 一 亦 似 亦

之 亦 今 亦 亦 一 似 亦 亦 亦 亦 亦 亦
向 後 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
似 似 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
皆 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦

四月

宝曆九己卯年四月

三十七日

借令銀滞出入 既掛り、お成有
分ハ、今止り、延至斗一、起る
勘系り、お急よ、至斗一、来ん
廿一日評定、お入、長、お入、お入、
交、お入、お入、一、お入、お入、
お入、お入、一、お入、お入、
お入、お入、一、お入、お入、

三

一、お入、お入、一、お入、お入、
お入、お入、一、お入、お入、

四月

宝曆九己卯年

但、お入、一、お入、お入、
お入、お入、一、お入、お入、
お入、お入、一、お入、お入、
お入、お入、一、お入、お入、

此尤古の竹下方相達以上を是と
し是取斗下市以右令報借法
以商人の令を被對談以上相
相致出訴以張以張變日行直
事新下相叙以交配上取り
以後の事自了法名お觸に
了お心得
右の題但之配有る而之可業
連日

天明七丁未年七月晦日

杉年言著紙教山溪

右の竹下川合出ると在る
宿にお宿し江戸宿に足脚を
村におお附右紙を請者
より足脚賃法を不切あり

信取来りて此の質を紙を持
たり江戸宿免脚の由信免
かたり取ら者有し越お守村
難知し事い依く以事とそお
こあわく飛柳免後不右後
五紙の信者江戸宿とそ合
於西面地免後不右後
江戸宿もとと中後五紙修
ゆそそと

但令信者五紙と心附りて
紙持等しとの成りて
江戸宿

右に越史料と代友紙と紙と
地取寺社紙共不渡り紙と右宿
い

年辨月日不知

諸裁断大概

一 山林ノ木盗取者ノ事

是ノ事ハ代官ノ代目ノ分ノ下ノ長也盗
取ハ年終ノ以テ宰令申付テ至死
罪ノ上ノ枷ヲ掛シ世悴為死罪

一 裁許破ノ事

是ノ裁許ハ本漸少後を破ル者
診議ノ上五十日裁テ二十日ニ急
申付テ中ノ以テ令教ル

事

一 代官を省以者ノ事

是ノ事ハ代官申付を省テ下ノ相違
少シテ宰令申付日數亦之得リ
少海申旨代官何以以テ令教
出宰令

一 地政を省以者ノ事

是者診議ノ上ハ老中ノ相向不
テテ遠隔死罪ハ裁申付以

地既... 自... 休... 百... 什... 与

一 匪散百姓之事

是... 地既... 了... 部... 与... 中... 渡... 事
行... 尔... 占... 先... 乃... 取... 上... 表... 垂... 然... 先... 物...
取... 必... 以... 以... 之... 在... 信... 遂... 往... 彼... 在
彼... 古... 亦... 在... 尤... 上... 分... 亦... 表... 亦... 与... 遂... 往... 彼... 在
彼... 以... 彼... 古... 亦... 在... 尤... 上... 分... 亦... 表... 亦... 与... 遂... 往... 彼... 在
彼... 以... 彼... 古... 亦... 在... 尤... 上... 分... 亦... 表... 亦... 与... 遂... 往... 彼... 在

一 以耕者之私欲之事

是... 年... 乃... 在... 私... 欲... 有... 一... 由... 在... 百... 姓... 之...
中... 亦... 以... 以... 在... 往... 彼... 上... 彼... 之... 亦... 在...
以... 於... 在... 其... 在... 往... 彼... 以... 亦... 在... 往... 彼...
中... 亦... 以... 以... 在... 往... 彼... 上... 彼... 之... 亦... 在...
以... 於... 在... 其... 在... 往... 彼... 以... 亦... 在... 往... 彼...

一 田畑永代賣之事

是... 田... 畑... 永... 代... 賣... 之... 事...
并... 加... 判... 了... 者... 中... 之... 宰... 令... 中... 一... 付... 賣...

至七出軍の上江戸を以て遊放令
之を損失、
相違、加判、
余出、
其の親存生、
親、
通中付

一 田畑取納奉買、
是

一 質田畑、
是を院文、
名、
本、
了、
其、
一、
是、
其

中付

一 孝子婦以者

是孝子婦以者

己急

之少頃

前乃約束相極

中付

一 先任借金之事

是孝先任之借金有之暇

後任入院

借金中出

其

借金指任存

右金下漸名

院人

一 遊女

是孝人

下女

賣人の江戸中川に墜りし
之院人も死罪中付身代金と高
人之店住人或之口入人至店
強し中付

一 園所 其趣り 以之し事
是之も其趣り 以之し事 牢金中
付於手不獄門下之
一 細工人 弟子之事
是之 細工は習師通し之方を

其押し 暇に同細工致師通し
賣買し 姑、成り合訴出以之
師通し 同賣買致し 了後旨院
文中付 師通し 下金

附外高賣人茂有之准

一 吉云 人之事
是之 人之事 入不中 暇出以
又ハ 吉云 其趣り 暇出以 給金滞
旨之人 訴証 以之 以之

人々給金下海名中付且名後者
其給金前中付尋も其給人下為
致し給金漸切り切る尋を永尋
子中付也

一 在り人取逃并町人子代引負

是れ在り人致欠後少切を先
給金下海名并欠後者三十日
切り尋中付並平上り七給

人并少程中付出入海少切を
名後そのハ永尋並町人子代
引負り少切を商人去令
子海切り以内手錠を掛給人
少切り少川原令給金引負
令其より悪或逃致を海の中付
少引負名後致少切を是れ又
給人下給金下海名欠後者も
了尋名中付尋上り名後尋不

出少以是川原く今言諸人小
無さ世に出入漸く以て去る者
と承尋中しん

附在去人々後 并子代引負
く後訴出裏判出く對決る
は信以常内沈る事漸く以て
川原くいもの世に接
一人の難題しん
是く一人難題中掛しん

終り以て千時分終後以て
急中しん

一 騷動討事
是く騷動討事終り以て双方
牢舎中しん是以て者以て
在取逃取

一 牢内より逃出并子代引負
しん

是く終後く上死罪中しん

一 斬人刃帶 一事
其于宰舎之上也故

密通一事

是古史有之 女密通 致以始也
男女死罪且密云 致以是也
見偏男女 及切殺 以以是也
持男 及古 女 及古 去人 切り 致
致 及 長 不 致 密 通 以 名 中 以 以 也
於 宰 内 令 同 去 一 中 批 以 以 也

一 下手人致密通 以 及 世 紛 旨 及
白状 以 以 死 罪 夫 世 持
縁 及 不 附 女 密 通 一 事

是古史有之 一 女 密 通 致 以 始 也
者 及 男 女 及 切 殺 一 内 宰 舎
中 付 至 是 古 女 及 親 一 方 以
古 後 男 及 世 故

一 及 人 及 娘 及 密 通 一 事
是 者 及 人 及 娘 及 密 通 致 以 始 也

論後、上を奪ふに死罪
七中付

一 丈夫、女に艶書、

是を夫有し、女に艶書付は者
之論後、之を奪ふに死罪、
女、其に接艶書、其に奪ふに死罪、
七中付、
七、同前、
罪女、其に所し、不次、其に死
七、有し、其事、

一 出、雖、

是を論後、上を奪ふに死罪、
中付、死罪、

附、其に、女中、掛、其に、
より、奪、其に、死罪、
付、事、

一 車、貸、日、有、

是を、車、貸、日、有、
以、者、其に、奪、其に、
車、貸、

以之... 滞金取阿...

一 件之間出入之事

是主高賣或主法買事... 以味... 相對... 中後取上...

一 相詰之事

是主人詰店詰... 詰事

借之也... 相詰... 詰事

一 其片今之事

是主... 文... 詰事

一 其片... 詰事

是主... 詰事

十月廿日

一 於評定亦多行 不裁件以上欠
後者（金子之事）

是之郎（金子） 裁掛出有（評定
不裁多行 而（裁件） 之日切手

形中（金子） 不（金子） 欠（金子） 裁（金子） 以（金子）
裁（金子） 欠（金子） 後（金子） 者（金子） 家（金子） 裁（金子） 出（金子） 關（金子） 不（金子）

成（金子） 在（金子） 右（金子） 金（金子） 裁（金子） 滞（金子） 以（金子） 者（金子） 評（金子） 定（金子） 亦（金子）
多（金子） 行（金子） 不（金子） 乃（金子） 他（金子）

一 於評定亦 裁（金子） 行（金子） 不（金子） 乃（金子） 裁（金子） 件（金子）
以上外（金子） 科（金子） 与（金子） 以（金子） 仕（金子） 金（金子） 成（金子） 者（金子）

金子（金子） 事（金子） 右（金子） 同（金子） 以（金子）

一 評定亦 裁（金子） 行（金子） 不（金子） 乃（金子） 裁（金子） 件（金子）
以（金子） 形（金子） 裁（金子） 以（金子） 者（金子） 事（金子）

是（金子） 之（金子） 日（金子） 切（金子） 以（金子） 形（金子） 裁（金子） 以（金子） 由（金子） 評（金子） 定（金子） 以（金子）

以（金子） 之（金子） 事（金子） 出（金子） 以（金子） 裁（金子） 中（金子） 以（金子） 不（金子） 乃（金子） 裁（金子） 件（金子）
指（金子） 紙（金子） 裁（金子） 以（金子） 裁（金子） 以（金子） 者（金子） 以（金子） 裁（金子） 以（金子） 者（金子）

一 爲書 乃今 今新 子 论文 前
一 附日 切论文 類 火 子 邊 疏 境 失
以 考 子 疏 疏 上 论文 仕 至 下
一 至

一 立 移 令 子 子
是 小 諸 名 立 移 令 高 人 一 店
疏 或 子 大 店 店 下 疏 或 子 出 店
疏 親 疏 子 疏 疏 上 疏 子 付

一 子 付 子 子 以 味 以 牙 子 子 節 子
子 子 子

一 引 取 者 兼 偏 疏 以 者 子 事 子
是 子 子 入 子 子 子 何 子 子 子 子 而
是 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子
出 入 引 疏 外 子 子 疏 疏 子 子 子 子
子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子
疏 疏 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子
疏 疏 疏 疏 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子

七有、以

一 同安 弄 指紙 石 結 取 者 一 了 了

之 之 裏 判 在 一 同 安 弄 判 形 有

一 指 紙 付 在 節 一 墨 白 以 由 或 生

す れ 同 有 一 合 中 一 法 取 者 一

指 紙 在 心 呼 寄 為 一 之 念 手 從 中 付

一 了 在 三 四 日 取 立 以 以 以 以 一

以

一 質 田 畑 石 炭 弄 山 林 弄 十 分 年 一 了

五 分 年 一 了 一 年 一 季 一 分 者 年 一 季 明

一 五 分 年 一 一 内 訴 出 以 勿 生 一 下 法 裁 許

一 即 年 一 三 年 一 一 年 一 季 一 以 一 年 一 季

一 明 三 分 年 一 一 内 訴 出 以 者 一 下 法 裁

一 許 以 勿 論 右 年 季 裁 之 以 一 取 上

一 中 有 者 一 了 了

一 院 文 一 年 季 一 一 所 一 廿 一 一 金 子

一 有 合 以 一 一 法 一 返 台 有 一 質 地 一

一 其 院 文 一 一 年 一 一 一 一 十 分 年 一 一

内訴出者了後裁作十一年三月
四月五日上市召取裁作事

一 質地一年季十一年

去取り其年一長年去取上召
裁作事

附質地論文者之加判

分取上中召取裁作事

以者相名之元又組取、年

高加判事、以者是又取上

右質地年季明、以、結、返、反

各、年、季、限、り、世、々、々、今、字、有、合

以、了、結、返、由、一、他、文、在、心、所、出

者、只、今、返、年、數、を、石、極、以、裁、作

返、し、了、付、至、保、三、成、年、十、月、十、一、日

評、定、取、一、社、裁、作、評議、上、書、而、以、返

相、定、以、上

酒井修理吉更

牧野周情書

初年對之也
土井作藩也
坪内能也也
中山出雲也
大島越前也
水野澄清也
水野伯耆也
作藩作藩也
大久保下野也

於長海在年
過之平古也

年号不知子五月十四日

一 幸多也一 所人百姓乃出所刻也
高尔一 宿同道口振一 中一 户同道
与系上取上之 以信但刻之 令ハ子
形賣掛 令之 賣掛 性所物 川合
初判也 一 以事一

園八州と史料 和紙大に歩勘定
寺社史料 史料と歩勘定 寺社
也 京大板体見南都堺寺と所人
寺社史料 史料と歩勘定 寺社
寺社史料 史料と歩勘定 寺社

一 喧嘩自害人の例者首纏有
之刻 届々来りて其子先告り
目付商人換付 指巻に其身

死切 不中 以て其所へ 者より
保長仕付 帳中 後以て其身 死切
不中 以て其 者より 中 以て其 後
以書 尤も其 不中 者より 其 後 以書
場 不中 概 後 給 帳 換 付 者 時
以と 一回、 不中 其 身 以て 其 後
と 伺、 其 身 以て 其 身 以て 其 身
有、 其 身 以て 其 身 以て 其 身
其 身 以て 其 身 以て 其 身 以て 其 身

その子ありては、
死切りして三日晒す
て其親者ありてその中
三日晒すも、翌後世に
其福不埋盡れを云ふ
極に中自り

位候供を必歩け、
日自斗、
其福不埋盡れを云ふ
極に中自り、
又給人をも其

物事、事、歩け、日自

一 抄子ありて名届す、
其福不埋盡れを云ふ
極に中自り、
又給人をも其
其福不埋盡れを云ふ
極に中自り、
又給人をも其

一 双方候より、
所人百姓より出入

一日有錢

一件弓出入

一相傳

一普請令

一廿五令

宝永三丙戌年

一解死人之親親遠為也例

己八月廿三日

年四月廿日

一宝永三年

年八月廿日

一御目色正名抄し子丸 御目通

正名抄し子丸例

宝永三丙戌年十月三日

山山姓

新原五水正

日

大同紀行書

出少納戸

阿角吉史

年月日不志

目安裏書初判ノ事

一 寺社并寺社門前冥八州月書

寺社並寺社裏書ノ外紙紙冥八

初ノ内ノ事

一 寺社並寺社内ノ出入

月書并寺社裏書尤江戸町中

寺社内ノ出入

一 関八州ノ内ノ出入月書

勘定寺社裏書

在双方名主ノ家主ノ人組立合可相済

恙不持明レリ七日目双方ノ形ノ様

裏書ニ懸ル尤借合銀分入レリ在

斗は五十年 ありし日限 不承の以極
し裏書 下巻の事

但支能遠に掛りの出入を 評定する
下巻が 双方一支配のいり 手書
取寄 裁件 下巻 存者 ありし
掛りの出入を 何月 裁日 評定 ありし
下巻 可對 支能 裏書 ありし 三
巻 あり 月書 あり 初判 あり
加下

山城

大和

近江

丹波

但双方 ありし 者 ありし 三巻
ありし ありし ありし ありし ありし

和泉

河内

摂津

播磨

右月形大坂町奉行の取掛

右八ヶ寺の内と申す事取掛大坂町

奉行の支配遠又余事の掛りは取寄

寺社奉行月書下段初判に尤取寄

尤右同出入同支配多由苗地所

出のり支配所し奉行所へ移り候

中渡取上り中より取寄り候

裁許結末裏書加り候

一 國境

裁許結末向

赤坂中加り

一 郡境

他右の事結末裏書を以て裁許し

候事三ヶ寺の連系

材料并地頭地頭遠く出入

候事

左の事奉行支配は代官不在取所百

姓地頭は取掛り出入候事候事

奉行は代官地頭等取寄り候事

五斗丁及以佳亦以甘之肉百姓
所出以之取上中者亦少也

一 地既之出入也地既之所有也
地既之而取捌之亦漸由中而取亦
可也或以旬隔地既之斷世之百姓
所部以先地既之可也取中而後先
又取上中者亦少也相之亦相漸由
地既之中華以之取亦記亦中而立
於之亦達也他地既之亦中而相

一 地之出入也上取之亦中者

一 地或養子者或以之他地掛合所
出以先者以地既之可預者中者以
上取上中者亦少也若地既之裁許不
審之亦中者以之地既之亦取備也
上相者若不以之亦可相向也
一 地料亦百姓出入也其交配人亦深
此中者以之取上中者亦少也亦
亦交配人之亦中者亦深中而相相

以りて對候と上取上りたり

一 地取上り社名百姓掛り以出入

も一取上り地取上り中達の上り相済

りて取上り取上り

一 社取上り取上り相掛り以出入

出上り一取上り中達不相済

相掛り取上り取上り

取上り取上り取上り

り

一 社取上り取上り取上り

取上り取上り取上り

取上り取上り取上り

取上り取上り取上り

取上り取上り取上り

取上り取上り取上り

取上り取上り取上り

取上り取上り取上り

取上り取上り取上り

一 親父子兄弟を以て親戚として
少長を以て之を以て親戚として
も亦及第の事

一 親戚の後 節遠くの中
節一 事行ふに親戚の
親父再進中 出たり
對談 親戚の事 取上る
事 付の事

一 但難立親戚の事 取上る
流の如く 同役の 取上る
事 付の事

一 三事行ふに 事行出直、
所 親戚の事 取上る
事 付の事

一 親教縁者、由、許状、長、出、
少、向、苗人、難、出、世、
、苗人、為、中、後、取、
中、

許、定、年、第、一、許、状、入、者
多、煩、教、

一 件、定、年、前、箱、之、難、之、許、状、入、
者、多、煩、之、難、之、宿、住、の、
許、一、之、再、注、中、

苗人、之、許、状、入、了、了、相、告
旨、中、之、苗人、之、在、之、延、院、文
中、付、日、教、之、其、撰、之、煩、之、免
以、他、之、院、之、本、寺、福、之、浪、人、之
地、之、家、主、等、之、難、之、許、一、
之、出、之、之、之、之、之、之、
中、之、院、文、取、之、可、之、之、
諸、役、人、之、之、之、之、
裁、許、之、之、之、

一 諸証人を始に示し支那人非分
私曲を示し有し者訴訟の節に
証人支那人は一區り申述相文
不相解由証人の先其名相
同は其意以申す斗一尤裁許
之証人相向す事一
一 証人非分諸証人非分裁許
裁許有し以事相解以後
を經年月を在裁許非分

由申之再少味証人の取上テ
申す其証人の証人非分性成
論文有し相分有しハ能據世
一先裁許必定是失相見ハ以テ
何一上證取多リ一申ハ若又
双方ハ能文相有し其再少味
致多事一
但相分不尋一其相分儀ハ
以テ評議一上言其証人非分

人勤生地政ハ一應事務下ルル様子
相子百参可中百参以事

一 不取出以事参所取以评後上之
裁許改了就後上何上可付以
事

公事一 吟味録 定高 付以
事

一 公事吟味録後式日三合、取出即日
不相併後上掛、参行 定高 日

数不掛振子吟味を結了後 評後
了之与裁許 了付以事
重事、内役人 評定取一應以知
出入取斗、

一 出老中

一 取可代

一 大坂市代

一 若年参

一 御側取

一 評定亦一應

右ノ事以地ノ出入評出ノ節不及何

事耳裁評ノ趣相伺可也事

一 但實地并借金銀ノ全定法有

一 故ニ付不乃何事

用水惡水并新田新堤川陰ホ

出ノ事

一 諸木材ノ用多惡水并新田或

川陰地以是合以出入評出ノ時

少料之少代有形以地以ノ定事

を以及子際ノ事ニ極子致熟候

了相解名中事也評状相候事不

相候候事一没人中出ノ事

子細を以紀并上可時以候事

事

寛永十五年癸亥年九月

今發園東中野山境編乃自今

西侯使長老... 以召能... 遂也人...
由... 多... 下... 下... 下...
成侯侯使不... 孫... 板... 下... 下...
仙... 依... 無... 切... 以... 右... 越... 但... 中... 與... 力...
古... 相... 觸... 由... 老... 年... 長... 中... 下... 下... 下...

年月不...

私考

林家日記云寬永八年二月二日
所... 行... 修... 回... 深... 正... 宅... 表... 年... 齊... 令...
公... 事... 一... 沙... 法... 有... 一... 至... 以... 指... 或... 酒... 井...
雅... 樂... 政... 或... 酒... 井... 濫... 破... 事... 定... 多... 齊... 令...
有... 一... 同... 十... 二... 年... 一... 十... 月... 十... 日... 評... 定... 允...
定... 一... 十... 二... 月... 二... 日... 始... 與... 齊... 令... 有... 一... 同... 十...
三... 年... 一... 江... 府... 就... 一... 日... 評... 定... 不... 在... 致...
以... 同... 十... 六... 年... 一... 安... 屋... 右... 京... 進... 杉... 年... 出... 雲...
為... 齊... 社... 齊... 行... 是... 一... 依... 齊... 社... 齊... 行... 林...

永新始也 永新を林石春り実
名也

年月不名

評定所始し事

一 評定所始し事 寛永八年十一月十日評定所
始し 寛永八年の二月二日所始し
碓田源正忠定は老中奉合公事
所法所始し事 碓田源正忠定は老中奉合公事

酒井源政忠は老中奉合有
一 寛永十三年十一月十日評定所
相定は建十二月二日始し評定所
始し事 碓田源正忠定は老中奉合有
十二月廿二日を武日と名

一 元福二年八月廿二日奉合所自付
出度始し事 碓田源正忠定は老中奉合有

年月不名

一國持大名所用系許証之事

土井大船氏

酒井強佐氏

杉平伴左氏

河部豐盛氏

堀田加賀氏

右平人三月被毒可取也

西旗本諸君其人許証所用

事

土井遠江氏

酒井備後氏

三浦志麻呂氏

太田備中氏

藤原對馬氏

右平人三月宛可被毒事

令限細方

雅樂氏

右隅氏

一 在平人同部
一 院人出用并訴証

和山守

内西氏

内藏元

大雅聖氏

純作守

大隅守

内西氏

和山守

内藏元

一 在平人可致番事

一 寺社出用并遠國訴証人

安原守

杉平出雲

堀市正

一 在平人可致番事

一 所方出用并訴証人

民部
式部

右二人 下月 了 致 番 子

一 關東中法代友 官 兵 百姓 等 出 用

所 領

杉 平 右 衛 門

伴 丹 播 磨 守

伴 左 中 十 年

大 河 内 金 三 郎

曾 根 源 左 衛 門

右 左 人 下 月 了 可 致 番 子

一 少 能 事 一 官 兵 付 万 事 一 所 領 之

一 了 事 一 官 兵 付 万 事 一 所 領 之

信 久 弓 右 衛 門

信 久 弓 右 衛 門

神 尾 内 記

酒 井 周 情 守

右 三 人 下 月 了 可 致 番 事 一

一 了 事 一 所 領 人 之 事

名地 河内
井上 筑後
秋山 仰理
柳生 他了

右 甲人 可取子

一 月 安 裏 判 了 後 子 後 了 了 了

一 內 善 法 寺 行 小 善 法 寺 行 道

寺 行

打 年 伊 三 也

何 初 考 後 也
極 回 加 修 也

右 乙 人 了 所 多 用 了 後 可 取 子

一 大 造 了 小 善 法 寺 并 大 成 屋 殿 割 了

後 了

大 始 氏
濠 碓 寺

右 乙 人 了 了 了 了 了 了 了 了

一 西 持 大 名 以 用 矣 許 許 了 了 了 了

三日九月十八日

一 町奉行 公事 了 水日 九日十九日廿七日

一 寄合日 二日十二日廿二日

望

年月日不記

是

一 在公人引負取逃者 欠居所以
一 以若 諸人人至 前 一 延

欠居者 尋 系 給 合 引 負 取 逃 者

日 切 中 村 滞 以 一 百 日 手 控 掛 五 枚

又 相 滞 以 一 五 十 日 宰 合 一 上 出 宰

中 村 以 在 居 延 一 後 一 旨 相 控 以 事

在 一 延 或 家 町 方 在 一 一 旨 同 前 事

Handwritten text in a cursive script, likely a list or notes, located in the upper right section of the page.

Handwritten characters, possibly a section header or a specific entry, located in the middle right section of the page.

Handwritten text in a cursive script, located in the lower right section of the page.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle right section of the page.

Handwritten text in a cursive script, located in the lower right section of the page.

Handwritten text in a cursive script, located in the lower right section of the page.

Handwritten text in a cursive script, located in the lower right section of the page.

